

2026 年 5 月 27 日作成 Ver.1.2

《情報公開文書》

ロボット支援下肝切除における肝実質切離戦略の比較：助手 CUSA 併用（two surgeon technique）と非併用の安全性・コスト評価

研究の概要

【背景】

ロボット支援下肝切除では、肝実質切離の方法が施設ごとに工夫されています。本研究では、助手が CUSA を用いて切離に関与する two surgeon technique と、助手 CUSA を併用しない戦略を比較します。

【目的】

ロボット支援下肝切除において、助手 CUSA 併用（two surgeon technique）と非併用の実質切離戦略を比較し、周術期安全性および医療資源使用・コストの差を評価します。

【意義】

切離戦略が成績と費用に与える影響を明確化し、臨床的に妥当で持続可能な実質切離法の選択・標準化に資する根拠を提供します。

【方法】

対象期間内のロボット支援下肝切除症例を診療録等から収集し、助手 CUSA 併用の有無で群分けします。

対象となる患者さん

対象期間：病院許可～2028 年 3 月 31 日（予定）

上記期間に当院でロボット支援下肝切除（肝実質切離を伴う手術）を受けられた患者さんを対象とします。ただし、他臓器大手術併施、緊急手術、主要項目の記録欠損が大きい方等は除外します。

研究に用いる情報

下記の情報を診療録等より収集します。

- ・年齢、性別、BMI、併存疾患、ASA-PS
- ・術前肝機能・血液検査（Alb、Bil、PT-INR、血小板等）
- ・疾患背景（診断、腫瘍径・部位等、取得可能な範囲）
- ・手術関連情報（術式、Pringle の有無/時間、手術時間、出血量、輸血、開腹移行等）
- ・実質切離戦略（助手 CUSA 併用の有無、使用物品）
- ・術後経過（合併症、再手術/再入院、入院期間等）
- ・医療資源使用・費用の指標（使用物品、請求情報等、取得可能な範囲）

※本研究で新たな検体採取や遺伝子解析は行いません。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ、対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2028 年 6 月 30 日	
研究実施体制【単機関】	
研究責任者	所属：長崎大学外科学講座 （所属科）肝胆脾・移植外科 氏名：江口 晋 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7316
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
長崎大学外科学講座 肝胆脾・移植外科 担当者名 濱田隆志 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7316 FAX：095（819）7319	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	